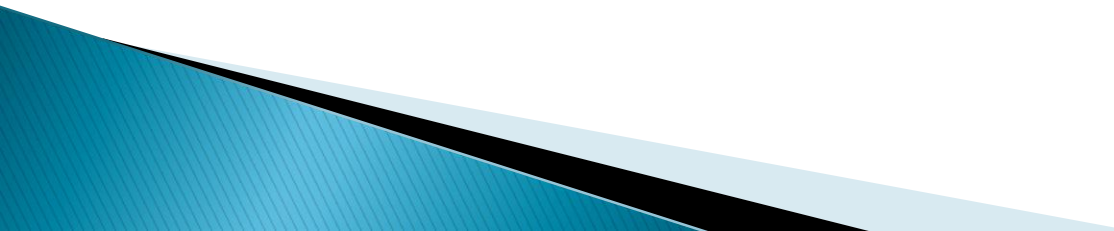


# 平成24年度 地域発元気づくり支援金 事業成果発表



NPO法人 さくら育英会  
「丸窓電車保全活用活動」

# 「本日の流れ」

- 発表者 自己紹介
  - 丸窓電車とさくら国際高等学校
  - 【事業①】丸窓電車補修作業
  - 【事業②】リレートーク講演会
  - 事業終了後の活用について
- 

# 「発表者 自己紹介」

○矢島 翔太(やじま しょうた)

NPO法人 さくら育英会 丸窓電車保全活用活動担当  
さくら国際高等学校 教諭

○松枝 瑞季(まつえだ みずき)

さくら国際高等学校 3年B組  
平成24年度 丸窓電車係

○鈴木 匠(すずき たくみ)

さくら国際高等学校 2年B組  
平成24年度 丸窓電車係

# 「丸窓電車とさくら国際高等学校」



上田電鉄が無料で譲渡する「丸窓電車」

## 上田電鉄

上田電鉄（上田市）は、かつて同社別所線を走り、「丸窓電車」の愛称で親しまれた「モハ5250型」電車2両のうち1両を、希望者に無料で譲ると決めた。来年1月31日までに譲渡先が見つからない場合、解体する予定。個人、法人を問わず「大切に使用してもらえればありがたい」としている。

モハ5250型は1927

## 「丸窓電車」無料で譲ります

### 運搬費は自己負担

（昭和2）年に製造、翌年から別所線で3両が走った。86年に引退後、2両を上田市の別所温泉駅で展示。もう1両は2004年に長野計器（上田市）が譲り受け、同市御岳堂の工場で資料館に使っている。

同駅の2両のうち1両は電車関連の資料を収め、イベント時などに公開している。老朽化が目立ってきたため、来年度中に塗装し直し、窓ガラスや座席の補修もして資料館として使用を続ける。もう1両は「補修経費をかけられない」（原勝美運輸部長）として譲渡することにした。

車両はクリームと紺の2色で長さ15m、幅2・6m、高さ3・8mほど。ドアの戸袋の窓は、国内でも珍しい楕円形だ。「別所線と言えは丸窓電車」と言われるほどシンボリックな車両」と原部長。現在は丸窓電車を模した「まるまどりーむ号」が走っている。

車両運搬費は譲渡先の負担。市内で運ぶだけでも130万円ほどかかるという。申し込み多数の場合は選考する。問い合わせは上田電鉄（02688・39・7117）へ。

・2010年12月に譲渡告知（信毎）

・学校に古い電車があることの面白さ

→教材や地域交流の場として多くの可能性がある

→譲渡を申請

# 「丸窓電車とさくら国際高等学校」

- ・全国から19件の応募  
→審査の結果、本校への譲渡決定(2011年3月)



# 「丸窓電車とさくら国際高等学校」

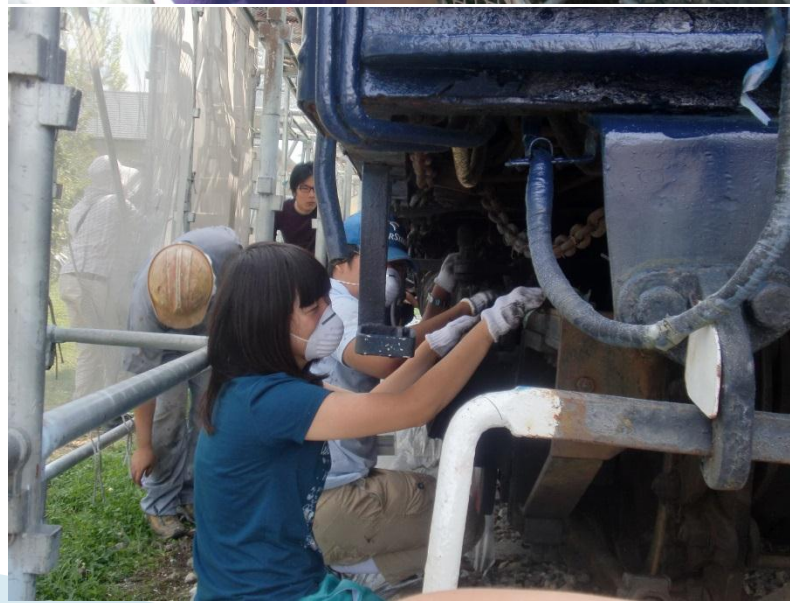
- ・長年の静態保存の結果、早急な補修が必要に。  
→長野県より「元気づくり支援金」を得て事業開始



# 「【事業①】丸窓電車補修作業」

- ・平成24年8月31日～丸窓電車補修見学体験会～
- ・鉄道車両補修塗装専門業者の指導の下、塗装作業実施
- ・当日はおよそ50名の参加者
  - ・さくら国際高等学校生徒
  - ・地域住民
  - ・全国の鉄道ファン(東京、神奈川など)
- ・生徒と地域住民との共同作業ですすむ補修

# 「【事業①】丸窓電車補修作業」





# 「【事業①】丸窓電車補修作業」



# 「【事業②】リレートーク講演会」

- ・平成24年10月14日～丸窓電車リレートーク講演会～
- ・丸窓電車を通して、地域の交通や歴史・文化・産業・観光に対する関心を高めるための講演会を実施。

あわせて様々な観点から、丸窓電車の利用方法について考えた。

講演者

宮本達郎氏(塩田平文化財保護協会会長)

母袋創一氏(上田市市長)

黛まどか氏(俳人)

丁野朗氏(日本観光振興協会総合研究所長)

# 「【事業②】リレートーク講演会」

・当日はおよそ167名の参加者

- ・さくら国際高等学校生徒
- ・地域住民
- ・全国からの来客

・講演会の内容

- ・丸窓電車の歴史・・・地域の足、養蚕との関連性
- ・近代化遺産・・・「未来への贈り物」
- ・「信濃秋 紬のやうな 風吹いて」
- ・点の資源を線や面で結ぶ・・・観光資源の可能性
- ・丸窓電車の元車掌からのお話

# 「【事業②】リレートーク講演会」



# 「事業終了後の活用について」



# 「事業終了後の活用について」

- ・近隣保育園児の活動場所
- ・小学生の遊び場
- ・生徒の昼食場所、憩いの場
- ・丸窓電車オリジナルキャラクター製作

地域交流の場、学習の教材、文化財保全



ご静聴ありがとうございました